

琴と尺八の音色をプレゼント 敬老の日を祝って



中川根南部小が敬老の日を祝い「和楽器演奏」を披露しました

中川根南部小学校（以下南部小）では、9月17日、地名地区と下泉地区の集会施設を訪問し、和楽器の演奏を披露。地区のお年寄りと一緒に敬老の日を祝いました。

南部小では「総合的な学習の時間」を利用して、琴や尺八、和太鼓などの和楽器演奏を学んでいて、10月に開催される北地域音楽発表会に向け、夏休みの間も練習を重ねていました。

当日は、「もののけ姫」や「風の通り道」など、児童たちが得意とする曲を披露し、素晴らしい音色に感心した様子のお年寄りたちは、1曲ごとに大きな拍手を送っていました。

南部小では「地域と一体の学校」を目指しており、地元との交流を大切にしながら学校教育に取り組んでいます。

海岸線を埋め尽くす流木の多さに驚きの声

大井川の清流を守る研究協議会主催「海岸清掃」を実施しました

9月29日、大井川流域3市3町で構成する大井川の清流を守る研究協議会が主催する海岸清掃が行われました。これは、大井川の上流から下流までの流域住民が一体となって「大井川の環境改善」を進めようという主旨のもと毎年実施されている事業で、川根本町からは、議会、大井川の再生を考える会、エコミュート大井、ケーブルテクニカ、役場職員など40人が参加しました。

当日はあいにくの雨天でしたが、御前崎市、吉田町、牧之原市の各海岸に分かれた総勢680人の参加者たちは、流木をはじめとする大小様々なゴミの量に驚きながら清掃に取り組みました。約1時間の作業で回収されたゴミの量は、2トントラックで10台分になりました。当協議会は、今後も様々な事業を通じ、大井川上・下流域の交流を深め、流域が一体となった流域改善活動に取り組んでいく予定です。



雨の中でしたら、たくさんの方々がご来場ください。

「河津桜」を活かしたまちづくり戦略とは

中川根商工会主催「観光講演会」河津町 櫻井町長に学ぶ

9月21日、中川根商工会では「河津桜」を活かしたまちづくりを推進する河津町櫻井泰次町長を講師に迎え「観光講演会」を開催しました。河津町では、町の観光資源である「河津桜」が見頃となる2月から3月にかけて「河津桜まつり」を開催。期間中、約100万人の誘客を誇る県内屈指のイベントとなっています。このイベントの誘客効果は周辺の市町にも好影響を与え、広域での観光活性化にもつながっています。

櫻井町長は、開催当初は3,000人程度の来場者しかいなかった河津桜まつりが、どのような努力によって100万人規模のイベントに成長したのか、また、規模が大きくなつたことで発生した、人員

の配置やトイレの確保など数々の問題と、その対応策について講演されました。さらに、今後の展望として、河津桜のシーズン以外の誘客、桜以外の観光資源の発掘など、10年後、20年後を見据えたまちづくり戦略を話され、来場者はメモをとりながら真剣に耳を傾けていました。



見事な演奏を披露しました
写真は下泉地区での演奏です

「こころの健康」について

ここ数年、ストレスの増大により、子どもから高齢者の方まで「心の病気」や「心の不調」を訴える方が増えています。一言で心の病気と表現していますが、統合失調症やうつ病など多くの病気の種類があります。中には、大切な人の死や、人間関係のつまづきで心の調子を崩してしまった方もいます。心の病気を持つ方や家族は、色々な気持ちを抱えながら、地域で生活をしています。

今日は、町で行っている心の健康に関する事業を紹介します。心に関する相談窓口として「こころの健康相談」、社会復帰を支援するための「竹の子会」、心の病気を持つ方の家族同士の交流・情報交換の場として「若あゆ会」があります。心の病気を持つ方や家族の心を温め、励みとなるのは、

このような場に気軽に相談・参加できる住民の皆さんへの温かい支えです。

活動を通して社会復帰をうながします。

家族の悩みや不安をともに考えます。

お問い合わせ下さい

お問い合わせ下さい